

# 一般社団法人スナフキン・アンサンプル (所在地：岩手県陸前高田市)

## 事業名

ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちが取り組む、ユニバーサルで持続可能な学びの場づくり

## 事業の趣旨・目的

孤立しがちな方々が社会参加するきっかけづくりと、職場以外の人間関係を求めている障害者等の居場所づくりを併せた、障害の有無を問わない生涯学習の場づくりに取り組む。また、それを一時的な取り組みで終わらせず、自立的に発展するサークル活動や、継続的な地域イベント等に組み入れ、持続可能な仕組みづくりを目指す。

## 事業実施体制・連携先

【地方公共団体】 陸前高田市  
【連携協議会】 陸前高田市SDGs推進プラットフォーム会議  
【協議会事務局】 株式会社日経BP  
【連携事業】 陸前高田市ユニバーサル就労支援センター  
【事業協力団体】 三陸花火競技大会実行委員会

## 事業内容

### 自立的なサークル立ち上げに向けた体験学習活動

- ・前年度に6名で立ち上げた音楽サークルで毎月練習を行い、経験者/初心者を問わず全員でイベント出演することを目標とする。
- ・前年度、ネイルアート体験講座に参加した5名がサークル化を希望。講師に依存しない活動方法を話し合い実践する。
- ・手芸、料理、ウォーキングなどについてもサークル化を検討。その他の活動についても可能性を探る。

### 地域イベントでのボランティア体験学習活動

- ・年2回開催される三陸花火大会で、準備作業に参加した人を大会に無料招待していただく取組を継続。大会の度に集える居場所をつくる。
- ・単純作業の補助だけでなく、参加者それぞれに対して特技やスキルを活かした参加のしかたを検討する機会を設ける。

### 店舗でのボランティア体験学習活動

- ・産業まつり等の機会を活用し、出店する様々な店舗・団体の作業を手伝って出逢いのきっかけをつくる学習プログラムを実施する。

### ICTツールを活用した学び合い

- ・自宅からでも参加可能な、プログラミングやサイト制作を学ぶ機会をつくり、オンラインで交流しながら学び合える学習プログラムを実施。

### 自立運営に向けた相互支え合い

- ・各活動とも自立的な運営に向け、参加者が役割を持ち互いに支え合う形を目指す。特に送迎や情報発信を自主的に行える仕組みをつくる。

## 事業終了後の目指す方向性

事業終了後も、ユニバーサル就労支援センターが側面的なサポートをしつつ、各プログラムが自立的に継続されることを目指す。しかし居場所の選択肢を増やすためには新たなプログラムを生み出し続ける必要があり、そのために市や県との継続的な連携も検討したい。最終的には学校や一般のサークル等とも連携し、年齢や障害の有無を問わず「ユニバーサルな学びの場」を選べる地域を実現する。

## その他

令和4年度より三陸花火大会との連携を開始し、これまでに3回の大会で学習プログラムを実施。延べ参加者数は約100名に上り、多くが継続してプログラム参加している。サークル活動は、個別ニーズを探りながら共通項を拾い協働活動に発展させている。音楽サークルは令和5年度、楽器経験者のみで2度のイベント出演を果たした。